

# 布入川本流(カツラ沢)

上  
一九八二年五月二三日

二俣になった所の橋より入溪。兩岸に石垣が積んである。入るとすぐ沢は左に曲がり、そこにF1五段が現れる。節理が良く発達し、宮城県七ヶ宿町にある名所・材木岩のようである。なんなくパス。

すぐにF2四段があり、これを越えると小さなナメとなっている。右より滝が三つかかった小沢が合流した所に、丸太による橋がかかっている。その先は小さなゴルジュである。そしてその奥には砂防ダムがあって、右岸を捲き、トラバースぎみに進んでから沢に戻る。

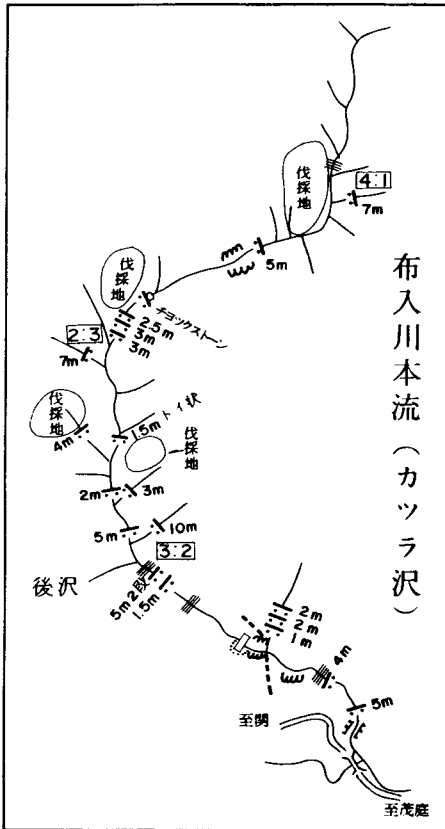
小休止後、遊行再開。小滝やナメ

が所々に出てくる。沢がU字状になった所を通り、F3五段。なんなくパス。すぐに二俣となる。水量は、左俣(後沢)の方が多い。予定通り右

俣(カツラ沢)に入る。

左岸から一〇段の滝となって小沢が合流すると、F4五段二段の滝がかかる。これが地図にある滝だろう。小滝を越えてゆくと、橋がかかっていた。このあたり、あちこちに伐採地がある。左右から小沢がいくつも合流してくる。そしてまた二俣。

二俣のすぐ先で、F5、F6、F



布入川本流 (カツラ沢)

7と、小さいが連続してかかる。この右岸にも伐採地が広がっていた。ゴルジュが現れ、沢は逆S字に曲がる。その先にF8五段が現れるが、軽くパス。

伐採地が終わる頃にナメが現れ、沢の水も少なくなってきた。やがて平坦な場所にて、沢が二分した。水はもうチヨロチヨロ。

右に進むと、すぐ水もなくなり、



後沢の遊行

一五分程でコルへ出た。ここで昼食をとり、茂庭沢に向けて下降に移る。

(記・)

## 後沢

I.  
一九八四年六月九日

「タイム」 出合(八二〇) ↓後沢出

合(九三〇) ↓コル(一二三三〇)

布入部落の少し先に車を置いて、

部落の中を通り布入川に入る。雪解

けによる増水を見

越していたが、も

う水もぬるみ、水

量も少なかった。

後沢出合までは滝

が一つと砂防ダム

が一つあった。

一〇時〇五分、

後沢出合。後沢に

入ってすぐ、沢が

右に曲がり、その先にF1八段が現れた。左より登り、右へ斜上して越える。

上はナメである。右より溜滝をかけた支沢があつて、本流は小滝が続き、ナメが随所に見られた。

やがて踏跡が沢を横切る。ここから焼松よりの道にかかる丸太橋の所まではヤブコギをしながらの遊行となった。

丸太橋を過ぎると、今度は沢が大きく左へ右へと曲がる。兩岸の所々